

事業所名

くるみ（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

14日

法人（事業所）理念		一人ひとりの個性や特性を大切にしていきます。 一人ひとりの発達段階に合った内容と考え、自立を目指した生活習慣の獲得を目指します。 様々な体験や経験を通して基本的な知識や技能を習得し、その発達や成長を促すために適切な支援を行います。						
支援方針		将来社会的自立ができるように一人ひとりの発達段階に合った内容と考え、身辺自立、運動、認知、言葉、社会性などの指導を行います。自ら好きなものを選び、楽しむことを目的とします。事業の実施にあたっては、関係市区町村、地域の保険・医療・福祉サービスとの連携を図り、総合的なサービスの提供に努めます。						
営業時間		8時	45分から	17時	45分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	到着から帰る時間まで写真ボードやイラストカードを活用し、手洗いうがいや着替え、トイレなど身辺自立に向けた支援を行います。言葉での理解が難しい場合は視覚的に流れを伝えたり誘導することで生活リズムの習得を目指します。昼食やおやつ時に食事作法の指導。アレルギーへの対応。排泄や手洗いなど衛生面での課題改善に向けて生活能力の向上を補助するなど、個別課題に応じて生活能力向上（自立）に向けた支援を行います。						
	運動・感覚	子どもたちの苦手な部分や障がい・年齢などの特性を踏まえ、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上、身体の正しい使い方や感覚統合を楽しく身につけられるように子どもたち一人ひとりに応じた支援を提供しています。運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、感覚の成長の支援を行うだけでなく、製作などで様々な感触の物を用いたり、用具を操作し、手先のトレーニング支援も行います。						
	認知・行動	将来に向けて、集団生活の流れに沿った行動が出来るような療育を行っております。危険認知に関しては、外出活動を多く取り入れながら、危険な場所や行為についての確認学習を行っております。色や形、数字や音といった概念についても、本人の認知や行動の手掛かりになるように支援を行います。						
	言語 コミュニケーション	写真イラストや意思表示カードを活用し、発語が難しい子どもたちが自分の気持ちを表現する楽しさ・嬉しさを感じられるように促します。適切に活用できるようになった段階で、発音・発語やサインへと移行し、最終的には子どもたちの特性にあわせ、単語や適切な表現で伝えられるようサポートをします。						
	人間関係 社会性	職員や他児童と一緒に遊ぶ遊びや活動を通して他者との関わりの経験を積めるよう支援します。製作活動を通じて達成感を感じられるように行います。将来に向けて、物事の良し悪しを理解できるように日々の関わりや活動を通して、相手の気持ちや人との距離を考える療育を行います。						
家族支援		個々のご家庭の状況に対応できるように、常に情報共有を行い、困りごとについての相談や支援も行ってまいります。また、ご家庭への訪問も行い、状況把握に努めてまいります。ご家族の就業等による延長支援を提供しています。			移行支援	相談支援事業所と連携し、保育園等と情報共有し支援につなげ、進学先や就職先などの進路先との情報共有をし移行できるようにしています。		
地域支援・地域連携		地域の公共施設の利用等、地域資源の活用をしていきます。学校、自立支援協議会等の連絡会議で情報共有をしていきます。			職員の質の向上	内部研修を定期的に研修を行っています。 （虐待身体拘束、感染症対策、災害対策、意思決定について等） 外部研修への参加		
主な行事等		季節の行事、近隣施設・公園へのお出かけ						